2020年京大理 2

(1)

 $x^2-2px-1=0$ を解くと $x=p\pm\sqrt{p^2+1}$ $|\alpha|>1$ より $\alpha=p+\sqrt{p^2+1}$, $\beta=p-\sqrt{p^2+1}$ $X_n=\alpha^n+\beta^n$ とする。解と係数の関係より、 $X_1=\alpha+\beta=2p$ は偶数。 $\alpha\beta=-1$ であるから、 $X_2=\alpha^2+\beta^2=(\alpha+\beta)^2-2\alpha\beta=4p^2+2$ は偶数。

 $n \ge 2$ とする。 $2pX_n = (\alpha^n + \beta^n)(\alpha + \beta) = \alpha^{n+1} + \beta^{n+1} + \alpha\beta(\alpha^{n-1} + \beta^{n-1}) = X_{n+1} - X_{n-1}$ より $\therefore X_{n+1} = 2pX_n + X_{n-1}$

上記の漸化式により、 X_1,X_2 は偶数であるから、以下帰納的に、 X_n は偶数である。(証明終)

(2)

 $\sin(\alpha^n\pi) = \sin\{(X_n - \beta^n)\pi\} = \sin(X_n\pi)\cos(\beta^n\pi) - \cos(X_n\pi)\sin(\beta^n\pi)$ X_n は偶数より、 $\sin(X_n\pi) = 0$, $\cos(X_n\pi) = 1$ であるから $\sin(\alpha^n\pi) = -\sin(\beta^n\pi)$ $(-\alpha)^n\sin(\alpha^n\pi) = -(-\alpha)^n\sin(\beta^n\pi) = -(-\alpha)^n\beta^n\pi \cdot \frac{\sin(\beta^n\pi)}{\beta^n\pi} = -(-\alpha\beta)^n\pi \cdot \frac{\sin(\beta^n\pi)}{\beta^n\pi} = -\pi \cdot \frac{\sin(\beta^n\pi)}{\beta^n\pi}$ ここで、 $\beta = -\frac{1}{p+\sqrt{p^2+1}}$ であり、 $\lim_{n\to\infty}\beta^n = 0$ であるから $\lim_{n\to\infty}(-\alpha)^n\sin(\alpha^n\pi) = -\pi$ ……(答)